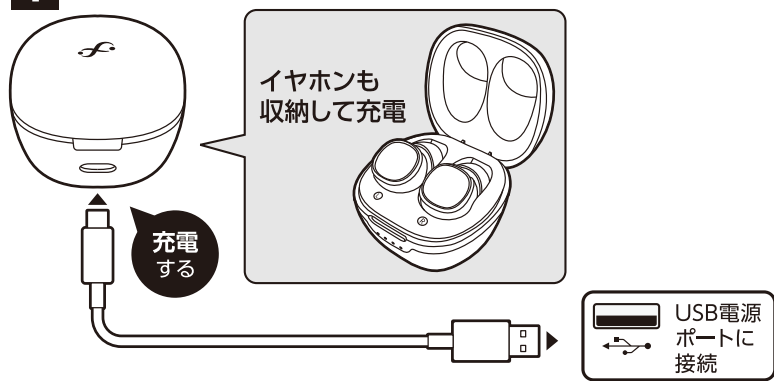


簡単

ペアリング接続ガイド

ご購入後初めて、Bluetoothフルワイヤレスイヤホンをご使用する際にはスマートフォンとのペアリング接続操作が必要です

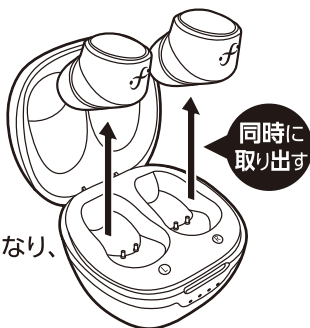
1 はじめに**充電クレードル**と**イヤホン**を**充電**してください。



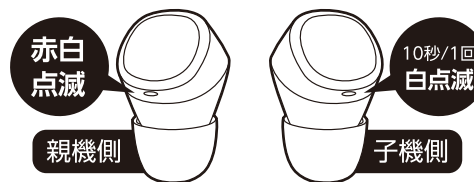
2 スマートフォンの**Bluetooth設定**を**ON**にしてください。



3 充電クレードルのフタを開き、**L側イヤホン**、**R側イヤホン**を**同時に取り出す**てください。
自動的に**イヤホンの電源がON**になり、左右イヤホン同士が接続します。



4 左右イヤホン同士が接続されると**親機側イヤホン**のLEDが**赤白点滅**になり子機側イヤホンは約10秒間隔で**白点滅**します。

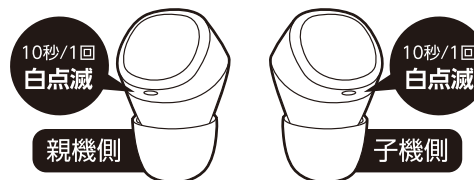


※本製品はイヤホンの電池残量が多い側が親機に電池残量が少ない方が子機に自動設定されます。(ロールスワッピング機能)

5 スマートフォンを操作して**[BS52]**を選択してください。



6 スマートフォンと接続されるとイヤホンのLEDが**約10秒に1回点滅**します。



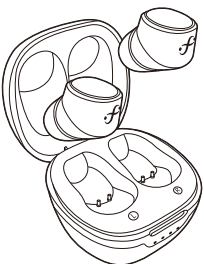
ペアリング完了です

耳に装着して
ご使用ください

※さらに詳しいご使用方法に関しては、別紙の取扱説明書をご確認ください。

FULL WIRELESS

STEREO EARPHONE



TBS52 Bluetoothフルワイヤレスイヤホン

安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。また、ご使用になる接続機器の取扱説明書にBluetoothに関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

▲ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

被害事象：異常発熱・火災・感電・事故・誤飲・破損・ケガ・熱傷など

- 医療機器の正常動作を損なう恐れがあるため、心臓ペースメーカーなど、電子機器を装着した人、および他の電子機器へマグネットを近づけません。
- 磁石の中を充電操作はできません。
- 分解・改造をしない。
- 製品に金属などを差し込まない。コネクタ端子を金属などでショートさせない。
- 無線機器の取扱いに関して指示のある区域などは、その指示に従う。
- 水につけたり濡らさない。水濡れ品は使用しない。濡れた手で使用しない。
- 指定の電圧以外の電源で使用しない。
- 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものを使用しない。
- 磁石中使用しない。
- 直射日光の当たる場所、電線器具などのそばや、湿度の高い場所で使用・保管しない。
- 乳幼児、小児の手の届く場所で使用・保管しない。
- 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
- 当社製品以外のケーブルを接続しない。
- 充電器やパソコンなどの出力端子同士を接続しない。
- 使用前に接続線を確認して必ず接続し、無理な力を加えて接続しない。
- 水中に投入しない。電子レンジ、オーブンなどで加熱しない。
- 電気が入りはじいたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらない。
- 重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
- お手入れの際は、各接続部を取りはずす。
- 破けたら、衝撃を与えない。

① 注意 人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容

被害事象：出力不足・反応せず・断線・腐食・破損・故障・ケガなど

- コネクタ端子電極部に水分を付着させた。結露した状態で使用しない。
- 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極度に熱くなったたり異常を感した場合は使用しない。
- 0℃から35℃の室内環境で使用する。それ以外の環境では使用しない。
- 0℃から40℃の環境で保管する。それ以外の環境では保管しない。
- タブレット端末やパソコン周辺、磁気記録媒体（磁気カード、磁気テープ、フロッピーディスクなど）、メモリーなどの記録媒体に近づけない。
- 充電ケーブルをはずす際は、接続機器に対してまっすぐ、慎重におこなない、異なる方向に強く引っ張らない。
- コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
- 内蔵電池が漏洩した場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるため、液を目に入れないよう注意する。万一、液が目に入った場合は水道水の水で十分洗い、医師の治療を受ける。液が眼についても水道水などで十分洗い流す。皮膚に異常がある場合は、医師に相談する。

使用上のご注意

- 本製品は、運転中や周囲の音が聞こえないと危険な状況では、事故の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 本製品をご使用になる際は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を与える原因となります。
- ご使用になるアプリケーションやスマートフォンによっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応しても相性により動作が不安定な場合があります。※アプリケーションごとの動作検証はおこなっていません。
- スマートフォンのOSバージョンアップなどにより、接続不具合が生じる場合がありますが、スマートフォンのOSに依存するため、本製品側では対応できない場合があります。
- イヤホンが装着する際はサイズを確認し取り付けてください。万一、イヤホンがはずれずに耳に残った場合、無理に取り出さないで医師の治療を受けてください。
- 本製品を耳に装着し通話や音楽再生中、スマートフォンをポケットやバッグの中に入れますと電波が遮蔽され、音が途切れる場合があります。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電ケーブルの充電には、必ず付属の充電用USB Type-Cケーブルをご使用ください。
- 充電端子が濡れたり、クリップなどの金属を接触させないようにしてください。感電やショートによる破損やケガの原因となります。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電している、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態を使用すると、内蔵電池の性能を低下させる原因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
- 本製品は防水、防滴仕様ではありません。水や汗などで濡らさないでください。
- ご使用の際にはイヤホンおよび、充電ケーブルの紛失にご注意ください。当社では、単品の販売はおこなっていません。
- 本製品が写った場合、書いた内容を訂正していただきます。シリアルナンバー、アルコールなどがわからない場合は、本製品を偽る原因となります。
- 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできています。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従って方法で、正しく廃棄してください。

Bluetooth 2.4GHz 電波について

本製品は2.4GHz帯の電波を利用しています。電波の特性上、「信号機など交通信号システムが多く設置されている場所」・「WiFiアンテナが多く設置されている場所」・「満員電車内など同U.2.4GHz帯電波機器の使用密度が高い場所」の使用環境では通信が途切れたりする場合がありますが製品不良ではありません。

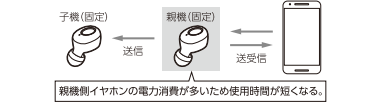
Bluetooth(Class2)最大通信距離

本製品の通信距離は、視通しで最大約10mまで通信が可能です。※使用状況などにより通信距離が短くなる場合があります。

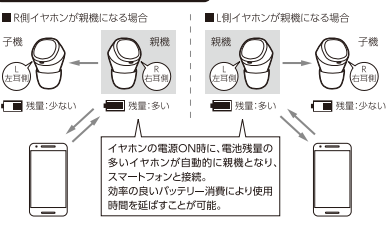
ロールスワッピング機能

従来のフルワイヤレスイヤホン、左右のイヤホンに親機/子機の役割が固定されているため電力消費の多い親機で早くバッテリー切れが起きます。しかしロールスワッピング機能搭載の本製品では、R側/L側両方のイヤホンが親機にも子機にもなることができ、効率の良いバッテリー消費により使用時間を延ばすことができます。

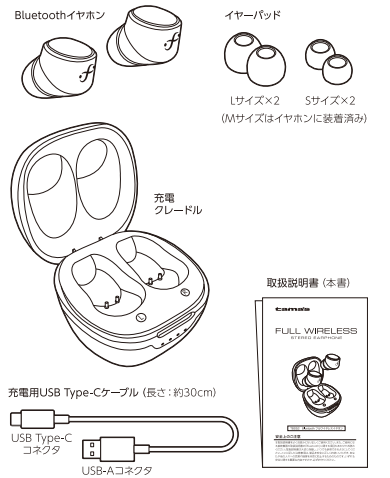
従来のイヤホン



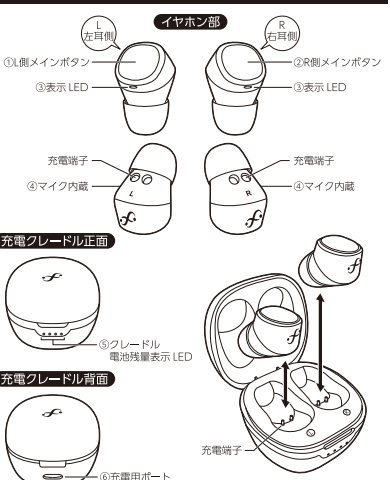
ロールスワッピング機能搭載イヤホン



1. 梱包内容



2. 各部の名称と機能



充電ケーブルにはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。充電ケーブルが高充電状態の場合、イヤホンを最大約5回充電することができます。※使用状況などにより異なります。

名称	機能
①L側メインボタン	電源操作、再生/停止/音量DOWN/曲戻し、受話操作が可能。
②R側メインボタン	電源操作、再生/停止/音量UP/曲送り、受話操作が可能。
③表示LED	状況に合わせて、LEDが点灯します。
④マイク	通話時の音声入力。
⑤クレードル電池残量表示LED	ケーブルの電池残量に合わせて、LEDが点灯します。
⑥充電用ポート	付属充電用USB Type-Cケーブルを接続し充電できます。

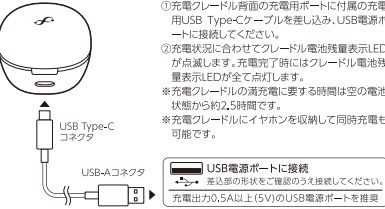
※詳しい操作方法は本説明書裏面の各操作項目をご確認ください。

3. 充電方法

① ご使用前に必ず、充電してください

① コネクタは精密パーツです。着脱の際はコネクタを持って接続部をご確認のうえ、慎重におこなってください。

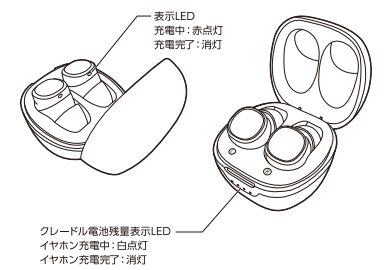
充電ケーブルの充電方法



※本製品付属の充電用USB Type-Cケーブルは、本製品専用です。他のUSB機器に使用しないでください。
※接続するUSB電源ポートにより充電完了にならない場合があります。
※充電完了後は必ず、全ての接続箇所をはずしてください。
※長期使用しない場合は、約1ヶ月ごとに充電してください。

イヤホンの充電方法

- ① 充電済みの充電ケーブルにイヤホンを取付けるとイヤホンの表示LEDが赤点灯し、充電が開始されます。
- ② イヤホンの充電が完了すると表示LEDが点滅します。
- ※イヤホンで充電に要する時間は空の電池状態から約1.5時間です。



イヤホン充電中は、クレードル電池残量表示LEDも点灯します。
点灯パターンにより充電ケーブルの電池残量状況が確認できます。

● 消灯 ● 白点灯 * 白点滅

残量あり 残量少 残量無し

※イヤホンの充電が完了するとクレードル電池残量表示LEDは消灯します。

① イヤホン収納時に充電ケーブルの電池残量が無くなり、イヤホンの電源がONになりますのでご注意ください

- ・イヤホンの電源がONになると、接続可能スマートフォンが近くにある場合、イヤホンはスマートフォンと接続されます。
- ・イヤホンの電源がONになると、接続可能スマートフォンが近くに無い場合、イヤホンは約5分間ペアリングモードになり、その後イヤホンの電源は自動的にOFFになります。

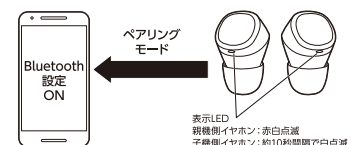
充電ケーブルの電池残量が無くなった場合は、充電ケーブルを充電するが、イヤホン単体で電源操作をおこなない電源をOFFにしてください。

また、スマートフォンの接続を避けるためイヤホンを使用しない時は、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

4. スマートフォンとのペアリング・接続

初めてご使用の際には、スマートフォンとイヤホンそれぞれ接続相手として登録(ペアリング)する必要があります。

- ① スマートフォンおよび充電済みの充電ケーブルに収納したイヤホン1m以内(Bluetoothの届く範囲)に置き、途中で障害になる物が無いことをご確認ください。スマートフォン側のBluetoothの設定をおこなってください。
- ② 充電ケーブルの電源を開き、R側/L側のイヤホンの電源を同時に起動してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。
- ※本製品はロールスワッピング機能が搭載されているので、イヤホンの電池残量が少い方が親機に電池残量が少い方が自動的に自動設定されます。



イヤホン電源ON後、下記ポイスアラウンドが流れます。
R側/L側イヤホンから、(ペアリング)の音声。
ペアリングモード時イヤホンから下記ポイスアラウンドが流れます。
親機側イヤホンから、[リセット]・[ペアリング]の音声。

※一度ペアリングしたスマートフォンがBluetooth設定ONの状態に近くになると、イヤホンがそのスマートフォンと接続を優先するためペアリングモードにはなりません。新たな機器とペアリングをおこなう際はペアリング済み機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
※約5分以内にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが自動で解除され、本製品の電源は自動的にOFFになります。



③ スマートフォンのBluetoothの設定方法に従い、ペアリングをおこないます。
スマートフォンが本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型番「BS52」が表示されるので、スマートフォンを操作し選択してください。

※スマートフォンにより設定方法が異なりますので、必ずスマートフォンの取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。

④ イヤホンとスマートフォンとの接続が完了し、通信可能状態になるイヤホンの表示LEDは約10秒間隔で白点滅します。

表示LED:約10秒間隔で白点滅

スマートフォンと接続時、下記ポイスアラウンドが流れます。
親機側イヤホンから、「[コネクタチェック]」の音声。

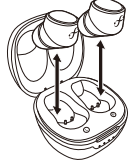
一度ペアリングをおこなえばスマートフォンやイヤホンの電源を切ったりBluetooth機能をOFFにするなどして接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。
ただし「再接続」については、自動で接続までおこなう機能と、スマートフォンによる接続操作が必要な機能があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

※以下の場合は再度ペアリングが必要になります。
・本製品は最大8台までのペアリング機能を登録できます。9台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目のペアリングがおこなったスマートフォン側のペアリング情報が削除されます。ペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
・スマートフォンのペアリング情報が削除された場合、ペアリング情報が正しく認識できなくなったため、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

5. 電源の入れ方、切り方

※下記の操作は充電済みの充電クレードルでおこなってください。

- ①充電クレードルのフタを開き、R側/L側のイヤホンを同時に取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。



- ②イヤホンの電源を切る場合は、充電済みの充電クレードルにイヤホンを収納してください。イヤホンの電源がOFFになります。その後イヤホンの表示LEDが赤点灯になり自動的にイヤホンの充電が開始されます。イヤホンの充電が完了すると表示LEDは消灯します。

① 充電クレードルの電池残量が無い場合は・・・

※電池残量が無い状態の充電クレードルからイヤホンを出し入れしても、イヤホンの電源は自動でON/OFFしません。充電クレードルの電池が無い場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこなってください。

※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済みスマートフォンが近くに無い場合などは、イヤホンは自動的にペアリングモード(表示LEDが赤点滅)になります。

② イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなった場合は・・・

※イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなると、イヤホンの電源が自動的にONになりますのでご注意ください。
※充電クレードルの電池残量が無くなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこない電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの接続を確認するためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

イヤホン単体での電源の入れ方、切り方

- ①R側/L側イヤホンのメインボタンをそれぞれ約2秒間長押しすると表示LEDが赤点滅し電源がONになります。
- ②電源を切る場合は、R側/L側イヤホンどちらか片側のメインボタンを約3秒間長押ししてください。表示LEDが赤点滅し、イヤホンの電源がOFFになります。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ①R側/L側イヤホンから、「パワーオン」の音。
- ②スマートフォンと接続時、親機側イヤホンから、「コネクテッド」の音。

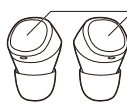
イヤホン電源OFF後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- R側/L側イヤホンから「パワーオフ」の音。

6. 電話操作

電話を受ける

- ①スマートフォンに着信したら、イヤホンのメインボタンを短く押してください。着信通話が開始されます。
- ②通話を終了するには、イヤホンのメインボタンを短く押してください。



- ※イヤホンから聞こえる着信音は、スマートフォンに設定した音とは異なる場合があります。着メロなどを設定している場合も同様です。
- ※スマートフォン本体から着信音が鳴動するように設定している場合、イヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。
- ※通話状態になると、少ないタイムラグが発生する場合があります。
- ※親機側のマイクが動作します。

電話をかける

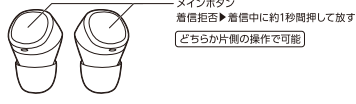
- ①電話をかけるには、スマートフォン側で発信操作をおこなってください。
- ②通話を終了するには、イヤホンのメインボタンを短く押してください。



- ※スマートフォンにより、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、スマートフォンを操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。スマートフォンの操作方法につきましては、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ※本製品の操作でスマートフォン側の音声通話の切り替えはできません。
- ※親機側のマイクが動作します。

着信拒否

着信中に、イヤホンのメインボタンを約1秒間押し放すと着信を拒否することができます。



- ※着信拒否時の動作は、スマートフォンや設定により異なります。
- ※着信を拒否すると、接続できない旨のアナウンスが流れる。留守番電話サービスに接続するなど、詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- ※スマートフォンによっては本機能に対応していない場合や、対応しているも相性により動作が不安定な場合があります。
- ※約3秒以上長押しするとイヤホンの電源が切れますのでご注意ください。

音量UP

R側イヤホンのメインボタンをダブルクリック(短く2回押し)してください。



- ※スマートフォンやアプリによっては、スマートフォン側での音量設定が必要な場合があります。スマートフォンでの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用法などをご覧ください。

音量DOWN

L側イヤホンのメインボタンをダブルクリック(短く2回押し)してください。



- ※スマートフォンやアプリによっては、スマートフォン側での音量設定が必要な場合があります。スマートフォンでの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用法などをご覧ください。

7. 音楽再生/オーディオビジュアル再生操作

スマートフォンが機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、イヤホンでスマートフォンの音楽再生(基本操作)ができます。また本製品は、SCMS-T方式で保護されたワンセグ/フルセグ音声にも対応しています。

- ※スマートフォンがA2DP・AVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。
- ※スマートフォンによっては、全ての操作に対応しない場合があります。
- ※aptX対応機器でご使用時に音声が聞こえない場合は、aptXはSCMS-Tに対応していません。スマートフォン側でaptXを利用しない設定にして再度接続をおこなってください。
- ※スマートフォンの設定により着信音がイヤホンから聞こえない場合があります。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ※スマートフォンによっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、スマートフォンで音楽再生をおこなってください。

音楽の再生/停止

- ①イヤホンのメインボタンを短く押すと音楽が再生されます。
- ②再度、イヤホンのメインボタンを短く押すと音楽が停止します。



音楽再生中に着信通話をする

- ①スマートフォンに着信があると、音楽が一時的に止まり、イヤホンから着信音が開かえます。
- ②イヤホンのメインボタンを短く押すと、通話状態になります。
- ③通話を終了するにはイヤホンのメインボタンを短く押してください。通話終了後、音楽再生に戻ります。



音楽の曲送り

音楽再生中にR側イヤホンのメインボタンをトリプルクリック(短く3回押し)すると、次曲に曲送ります。



音楽の曲戻し

音楽再生中にL側イヤホンのメインボタンをトリプルクリック(短く3回押し)すると、曲頭に曲戻されます。



8. その他の機能

バッテリーLOW警告

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側から約60秒間隔で「ローバッテリー」のボイスアナウンスが流れます。バッテリーLOW警告が出た場合は必ず、充電をおこなってください。

R側またはL側イヤホンを単独で使用

充電クレードルからR側またはL側のイヤホンだけを取り出して使用することができます。どちら側のイヤホンでも通話が可能です。

※音楽再生時の一部操作(音量UP/音量DOWN、曲送り/曲戻し)は使用するイヤホン側のメインボタンに設定された機能のみに限定されます。

※どちら側のイヤホンを使用しても、ステレオ音声の左チャンネルが再生されます。

9. イヤホンの初期化(リセット)

ペアリング情報が正しく認識できなくなった、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して工場出荷状態に戻し、再度ペアリングの操作をおこなってください。

①本製品の初期化操作時にスマートフォン側、接続機器リスト内の型番(B552)は、スマートフォンを操作必ず削除してください。

②電源OFF状態のR側/L側イヤホンのメインボタンをそれぞれ約10秒以上長押しすると初期化され電源がOFFになります。

③イヤホンを充電済みの充電クレードルに収納し、[4.スマートフォンとのペアリング接続]の手順に依り、再度スマートフォンとのペアリング・接続操作をおこなってください。

R側/L側イヤホン・接続機をおこなう際には、R側/L側のイヤホンの充電クレードルから同時に取り出してください。

表示LED
2秒目(白3回点滅)
→6秒目(赤白点滅)
→10秒目(白点灯後、電源OFF)

Bluetooth設定 B552 削除
[B552] 選択・削除

メインボタン初期化▶約10秒以上長押し
L 左耳側 R 右耳側

10. 操作一覧

動作・状態	操作方法	イヤホン側LED表示	ペアリング/アナウンス/電子音
イヤホンの充電	イヤホンを充電クレードルに収納	充電中：赤点灯 / 充電完了：消灯	—
充電クレードルの充電	充電クレードルに付属の充電用USB Type-Cケーブルを接続	充電中：白点灯および赤点滅 / 充電完了：白点灯(4灯) / 充電クレードル電池残量表示LED	—
電源 ON	充電クレードルからイヤホンを取り出す イヤホンのメインボタンを約2秒間長押し	白3回点滅後、電源ON	「パワーオン」
電源 OFF	充電クレードルにイヤホンを収納 イヤホンのメインボタンを約3秒間長押し	赤3回点滅後、電源OFF	「パワーオフ」
ペアリング	初めてペアリングする機器の近く(約1m以内)でイヤホンの電源をONにする	親機側イヤホン/ペアリングモード▶赤白点滅 / 子機側イヤホン/白点滅(約10秒間隔)	「パワーオン」 「レディトゥビーコネクテッド」(親機側) 「スマートフォンと接続時」 「コネクテッド」(親機側)
待受け状態(スマートフォンと接続時)	—	白点滅(約10秒間隔)	—
スマートフォンとの接続が切れた場合	—	親機側イヤホン/ペアリングモード▶赤白点滅 / 子機側イヤホン/白点滅(約10秒間隔)	「電子音」の後 「レディトゥビーコネクテッド」(親機側)
再生/停止	メインボタンを短く押す	—	—
音量UP	R側イヤホンのメインボタンをダブルクリック(短く2回押し)	—	—
音量DOWN	L側イヤホンのメインボタンをダブルクリック(短く2回押し)	—	—
曲送り	R側イヤホンのメインボタンをトリプルクリック(短く3回押し)	—	—
曲戻し	L側イヤホンのメインボタンをトリプルクリック(短く3回押し)	—	—
初期化	電源OFF状態のR側/L側イヤホンのメインボタンを約10秒以上長押し	メインボタンを約10秒間押しした状態 2秒目(白3回点滅) →6秒目(赤白点滅) →10秒目(白点灯後、電源OFF)	「電子音」
バッテリーLOW警告	—	—	「ローバッテリー」

■電話機能

動作・状態	操作方法
電話に出る	イヤホンのメインボタンを短く押す
電話を切る	イヤホンのメインボタンを短く押す
着信拒否	イヤホンのメインボタンを約1秒間押し放す

11. イヤホン部仕様

型式	B552	充電時間	約1.5時間※
通信方式	Bluetooth 5.0	連続通話時間	最大約4.5時間※
最大通話距離	見通し距離約10m(Class2)	待ち受け時間	最大約60時間※
対応プロファイル	HSP/HFP/A2DP/AVRCP	音楽再生時間	最大約5.8時間※
ペアリング	最大ペアリング登録台数	サイズ(片側)	約W15×H22×D23mm
内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池	重量(片側)	約4E
IPX防水等級(IPX)	IPX4(IPX4)	材質	ABS樹脂

※使用状況などにより異なります

12. 充電クレードル部仕様

内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池	サイズ	約W45×H38×D45mm
充電ケーブル	約2.5時間※	重量	約32E
イヤホン充電数	最大約5回※	材質	ABS樹脂

※使用状況などにより異なります

13. USB Type-Cケーブル仕様

USB端子	USB-Aコネクタ/Type-C	重量	約13g
ケーブル長	約30cm	材質	PVC他
ケーブル規格	DC5V 1A	—	—

14. 保証規定

- 保証期間 お買い上げ日より6ヶ月
- 必ず、お買い上げ店舗のシールをパッケージ、本保証規定書(取扱説明書)と一緒に保管してください。万一、修理の際に、製品とパッケージ、本保証規定書(取扱説明書)と販売店のシールを添え、パッケージ記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。
 - 保証期間内に、パッケージ、および本保証規定書(取扱説明書)記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状態で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、本製品の不具合に関連生じた、本製品以外の損害・費用・データ損失に関しましては、一切の補償をいたしません。また、作替品の先送りなどの対応いたしません。
 - ※次の場合は保証対象外となります。
 - 1)本製品(修理対象品)とパッケージ、本保証規定書(取扱説明書)、およびシールの提示がおこなわれない場合。
 - 2)安全上の警告・注意に記載した事項をお守りいただけない場合。
 - 3)個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
 - 4)地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
 - 5)ご購入後、落下や衝撃などの事故が発生した場合。
 - 6)本製品や付属品を紛失・破損した場合。
 - 本製品のご購入が事故や法令違反の原因になりましたら、一切の補償はいたしません。
 - お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。
 - 本保証書は日本国内のみ有効です(This warranty is valid only in Japan).
 - ご返品にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合があります。

多摩電子工業株式会社

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-6-18
商品問い合わせTEL 044-543-8884 受付時間 AM10:00~PM6:00(土・日・祝を除く)